

9月8日(水)雨の中ファイバーリサイクルネットワーク19名で工場に行ってきました。

### 感想

- 大雨の中参加しました。正直参加するまでは殆どは焼却処分なのだろうと思っていました。工場長の説明で百もの種類に分別される各々リサイクルされていると聞き大変驚きました。こんな物と思うような物でも丁寧に選別されればリサイクル出来ると言う事です。でもその為にはナカノさんのような事業者の存在が大切でそれには数量を揃える事が必要になって来ます。一般ゴミとして捨てず古布として回収に出す事が大事な事だ、と言う始めの一步にやっと思いが致りました。
- 久しぶりに行き、以前とすっかり工場内が変わっていたのに驚きました。藤田工場長の説明で作業ラインを変えたと聞きました。分類しているベテランさんの仕事振りも見事でした。
- 工場内は回収から集まった古着で能率よく選別されていた。それには、ベテランの従業員の目と手触りが効果を上げている要因だと思う。布がリサイクル出来る事を自覚して次の人に活用してほしい。
- 景気低迷で生活保護受取人が190万人余りと言われている、今の世、秦野工場で目にした衣類等の山は、我が家にある物より質が良く日本はまだまだ豊かな国と実感した。瞬時に分類されてそれぞれ行き先を決められ、又どこかの国で喜ばれ再利用されているかと思うと大量消費も悪くない、沢山買って沢山捨ててナカノから世界へ
- 古布と聞けば山積された衣料があちこちにあるイメージとは違い工場内は明るく整理整頓され全部手作業で細かく何種類にも分類され東南アジア方面に再使用されると言う。又再生繊維の原料として加工へ。資源の少ない日本だからこそ“エコもったいない”の言葉を忘れる事はない。
- 15年位前?見学した時「わっ!!」要らなくなった衣類や古布が活用されると目からウロコでした。その後回収をするきっかけになりました。今回も見学してまだまだ衣類や古くなったタオルやシーツ等も無駄に捨てたり出来ないと思いました。

・身に着けた下着(少し壊れていても)が、又それを必要としている国で命を吹き込まれその本来の仕事が出来なくなるまで利用される。日本人が使用した品物の信用度がとても高いとの説明目から鱗でした。又毎日のように送られてくる大量の品物の流れの手際良さ、機会でなく人間の目と手の力に感服の2時間でした。

・工場では色々細かく仕分けされ下着(シャツ、ブラジャー、パンツ)ブラウス、Tシャツ、ジーンズ等それぞれに集められていた。それを見て私は今までゴミとして捨てていた事を反省しました。これからは意識をもってリサイクルしたいと思った。

・仕分けラインについては、1本の長いラインで大勢の人が一気に仕分けをする情景を想像していました。実際には最初の大まかな仕分けを、経験の少ない人が行い、更に細かい仕分けをベテランがやるような仕組みになっていました。新しい素材などが現れ、それに柔軟に対応できるよう、色々工夫が行われているように感じました。

靴下やブラジャーの山があるのでビックリしました。日本の製品はとても良い物が有り海外で色々な人が一寸ずつ手を入れて生まれ変わるそうです。私たちが出した物が分別される事を直接見、知る事は大切だと思いました。

・あいにくの雨、工場長の話し古着資源の循環をとっても分かりやすく、説明していただき何一つ捨てる物がなく分類(選別)され中古衣料輸出、再生し活かされている事に今更ながら感心しました。物をもっともっと大切にしなければと感じました。只捨ててしまえばゴミになり、リサイクルに出せば活かされる事にも気づきました

### 編集後記

古布古着たとえ古くても破れていても使い道があり、様々な再利用ができる立派な資源です工場長の説明によると、年間、平均一人10kgの衣類を購入して8kg廃棄しているそうです。リサイクルできることを知らずに私たちは焼却ゴミとして捨てていませんか、行政回収、拠点回収等リサイクルに出しましょう。

※ホームページが変わりました。



2010年10月29日 発行

〒232-0017  
横浜市南区宿町2-40 大和ビル101  
Tel. 045-710-6507  
Fax. 045-710-6508  
ホームページ: <http://jimfiber.web.infoseek.co.jp>  
発行: ファイバーリサイクルネットワーク

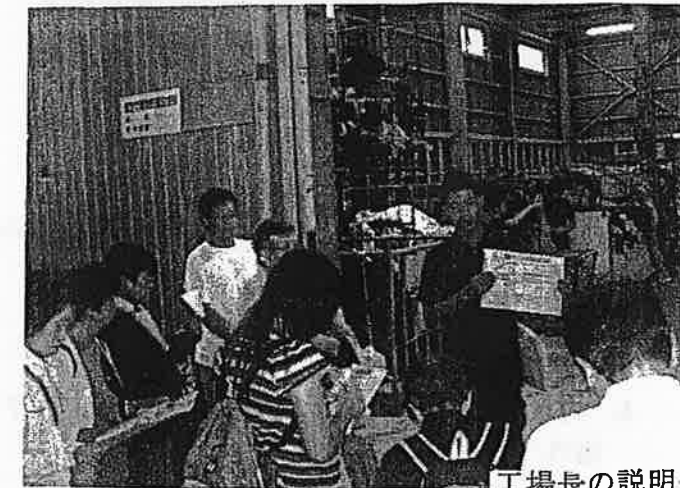
## ナカノ株式会社秦野工場 研修会

### 何故今ナカノ株式会社秦野工場なのか?

ファイバーリサイクルネットワーク(FRN)を立ち上げた時に私たちは何度も何度も学習を重ねました。何故古布・古着を回収するのか、回収後の古布・古着はどのようにリサイクル或いはリユースされるのか学習を重ねました。当時は回収活動が活動の全てでした。それでも回収された物の中にはかわいい子ども服や女性物など回収に廻してしまうには忍びないと思われるもの等があり、それらを集めてバザーしたりしました。その中に和服類が大量に有り、それは私たちが学習してきた「反毛」や「ウエス」にする事が出来ないことが分かりました。私たちの感覚から考えると和服ほどリサイクル、リユース、リフォームし安いものは無いと思うのですが、確かに「反毛」や「ウエス」にはなりません。回収された和服類が廃棄されてしまうのならと考えられたのが「リサイクルきものフェア」です。

10年前にそれまで同居していたアリスセンターから独立して蒔田の事務所に移ってきたのを切っ掛けにボランティアさんにも入っていただき、「きものフェア」のための仕事を拡大しました。ボランティアさんはFRNの活動は蒔田の事務所の和服類の事しかご存知ありません。運営委員の中で交代した方もいらっしゃるの回収活動をしているのは分かっているもその先の仕様までは分からなくなってしまいました。始めから関わっている人は当然理解しているものと考えて会話をしていました。私たちは長いこと基本的な学習をしてこなかったことに思い至りました。そこで何時も和服類を仕分けして仕入れてくるナカノ(株)金沢工場ではなく、同じ神奈川県内にある秦野工場に研修のために見学に行く事にしました。どのような物が回収され、どのように仕分けられるのかをつぶさに見て回収活動、リサイクルきものフェアの開催を理解して頂きたいと思った企画でした。残念なこととしては、この工場には反毛機は有りません。「反毛」は反毛専門の工場が岡崎にあるのです。反毛されたものはFRNの事務所にありますが、やはり実際に見ないと実感が湧

かないと思います。次回(何時になるかは、わかりませんが)には「反毛」糸に「つむぐ」「フェルト」にするところ、など見学学習を、したいと思います。 服部 孝子



工場長の説明

### ひさしぶりの研修会

この研修は2010年度の活動計画の1つとして進めてまいりました。2005年の岡崎研修から5年が経過し、ファイバーリサイクルの原点である回収した物の流れの一端をこの秦野研修を通して自分の目で、確認する事でした。前日までの晴天続きが嘘のような大雨の研修会となりましたが参加者の集まりもよく、時間通りのスタートでした。工場に着いて藤田工場長の工場案内と熱い説明に真剣に耳を傾け、従業員の方の慣れた作業には目を奪われていました。回収分別された更に先にある、反毛・ウエス工場がある岡崎への研修も、次年度の活動計画の中へ入れたいと強く思いました。また、この様に研修行程がスムーズにいったのは、様々なリクエストに臨機応変に対応してくれた、神奈中観光(株)酒井運転士の親切かつ穏やかな対応があったからだと思いました。 赤岡 清子

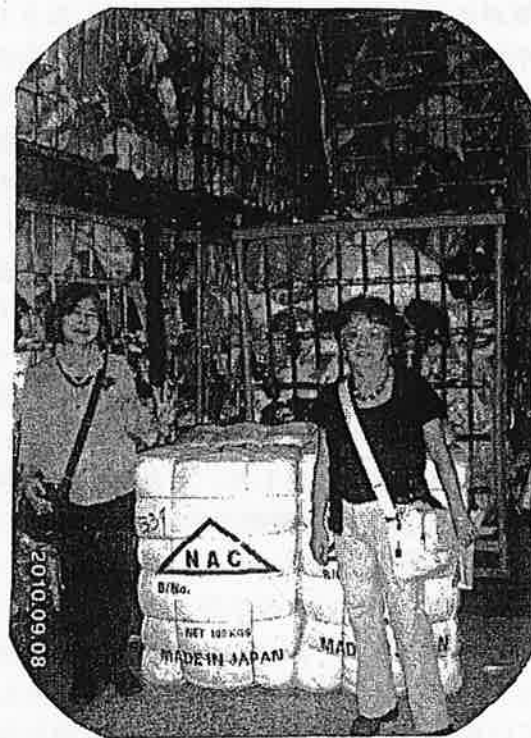
## 聞いてみました？



家庭から回収されたもの

- Q、回収された古着はどうなるのですか？  
 A、工場で選別し100種類位に分けます。
- Q、選別された衣類はどうなるのですか？  
 A、50%が海外に中古衣料として輸出されています。20%がウエス（工業用雑巾）30%が反毛になります。（輸出先が暖かい国が多いので夏物が喜ばれます）  
 又、リサイクル業者が買い取り、国内で販売されています。

- Q、反毛ってなんですか？  
 A、布を針で引っ掻いて綿にすることです。綿にしてから、糸につむぎ布にします。糸にしない反毛は、フェルトになったり、断熱材、防音材、車のイスの下などのクッション材に使われます。



梱包されて海外に！  
 （1梱包100kg）

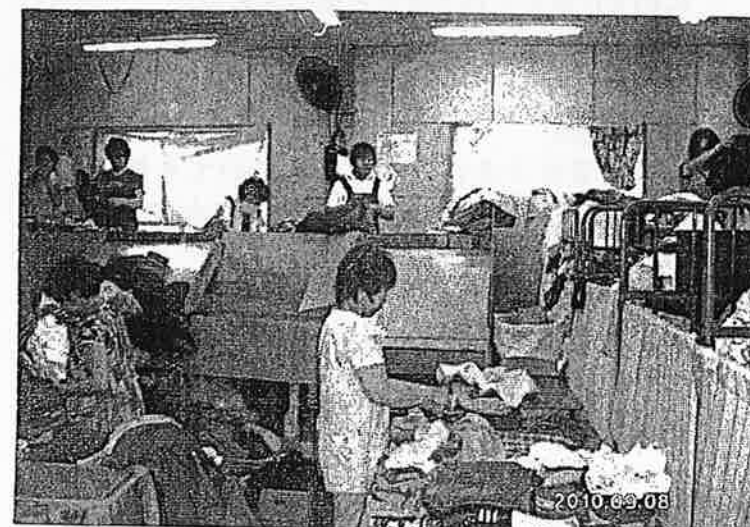
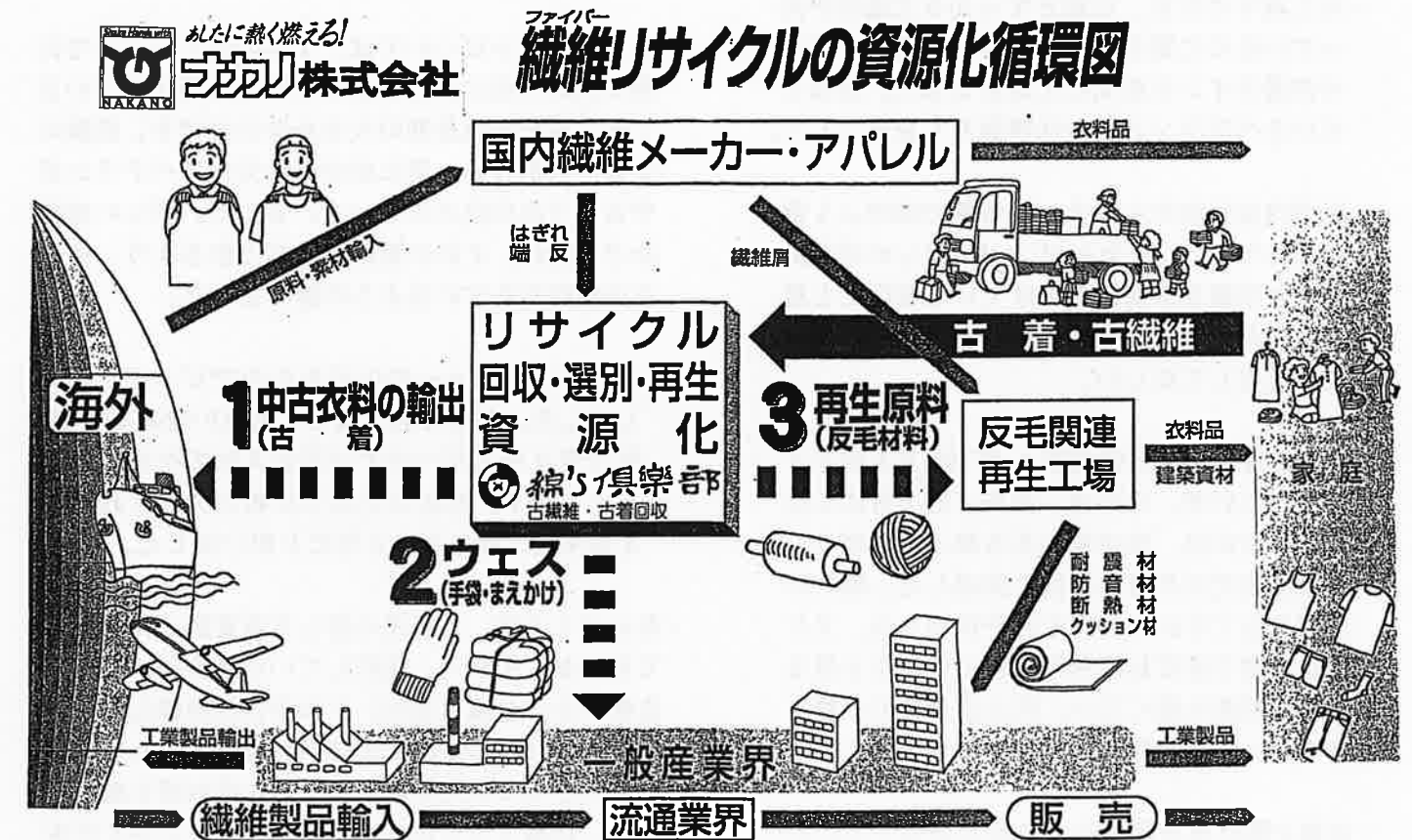


- Q、下着は出してもいいですか？  
 A、下着は綿製品が多く利用価値が高く特にブラジャーは海外でとても喜ばれています。
- Q、靴下は出してもいいですか？  
 A、両方そろえて一足にして出して下さい。靴下も海外で喜ばれています。
- Q、ボタンは取るのでしょうか？飾りやレース等も  
 A、取らないで下さい。そのままリサイクル、リユースする物が多く、付属品はなるべくそのままをお願いします。
- Q、毛布、タオルケットは出してもいいですか？  
 A、使い込んだタオル類は水分、油分を良く吸い取り使いやすいです。
- Q、セーターは出してもいいですか？  
 A、ウール100%は反毛し、その後製品になります。ウールマークなどの表示は取らないで下さい。素材の確認をするためです。
- Q、輸出先はどこですか？  
 A、マレーシア、韓国、インド、カンボジアなどに輸出されます。



ビニール袋の山

- Q、古布、古着が入っていたビニール袋が山積みされていましたがどうするのですか？  
 A、白いビニール袋は工場に出し又再利用します。
- Q、背広は出してもいいですか？  
 A、上下揃った背広は海外に輸出されます。



選別作業

### ナカノの産業コンセプト

「もったいない」から出発した「活かす」です。人を活かすモノを活かし、情報を活かす「活かす」です。今も昔も「もったいない」が人々の口から自然に発せられます。「もったいない」と「いただきます」の心で、資源再利用の道のひとつをこれからもずっと歩んで参ります。自然から得て創りだしたモノを大切に、活用し切ってまた大地に帰します。深い感謝を込めて。